

## 移住・交流受入システム構築事業

～波野への移住・交流の窓口を目指します～

やすらぎ交流館は、波野の自然・文化・農林業といった豊かな地域資源を活かした都市と農村の移住・交流を受け入れるしくみを地域に構築し波野を活性化させるため、阿蘇市より委託を受け、平成21年度「緑いきづく火の神の里・阿蘇」移住・交流受入システム構築事業に取り組みました。

この事業では、波野の地域資源調査や、移住希望者・移住者・地域の方々へのアンケートや、意見交換会、波野の暮らしを体験するモニターツアー等の実施を通して、地域や阿蘇市と連携をしながら、(有)神楽苑・なみの高原やすらぎ交流館が窓口となり、波野への移住・交流を受け入れるしくみづくりを目指すものです。

事業を通して、以下の事項が明らかになりました。

○移住希望者が相談できる受入窓口が欲しい。○波野には、すぐに貸し出せる状態の家はなかなか見つからない。○国際ワークキャンプなど長年の交流事業を通して波野のファンが育ち「いつか波野に住んでみたい」という相談が寄せられている。○地域の行事に出席する等、地域のルールを教えるなど移住者へのサポート体制が必要。○いきなり移住でPRするよりも、地域とともに波野の自然や暮らしを体験できる年間プログラムを実施したり、農家と交流をしながら働きたい方も募集するなど、波野のファンを地道に増やすことが、移住につながるのでは。○せっかく波野を好きになり、移住をしたいという相談があるのだから、地域を挙げて積極的に受入をしていこう。

やすらぎ交流館では、上記意見を活かし、4月より移住・交流の総合窓口として活動を開始します。今後も地域の皆様からの意見・助言をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



地域と移住希望者との意見交換の様子

昨年、波野住民の皆様をはじめとする多くの方々には何かとお世話になり誠にありがとうございました。やすらぎ交流館スタッフ一同皆様に負けない元気に二〇一〇年のスタートをきることであります。本年も様々な活動に取り組みたいと思っております。御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 春

も近くなりましたが、まだまだ

## 寒

い日が続いております。



# 冬号 波野ん便り

2010年2月2日発行

編集・発行  
なみの高原やすらぎ交流館  
〒869-2801  
熊本県阿蘇市波野大字小地野663-1  
TEL 0967-23-0555  
HP <http://www.aso-yasuragi.com>

### どんどや大会

1月10日に毎年恒例のどんどや大会が開かれました。参加者数は昨年のおよそ2倍、約100人が参加されました。

今年のどんどやは、天候にも恵まれ、点火後は瞬く間に燃え上がりました。「パン、パン」という竹の爆ぜる音に驚く参加者の姿もちらほら見られました。

参加者には炎が収まるまでの間にぜんざいが振る舞われました。まるで春のような陽気であったため、テラスにたくさんの方が腰掛け、ぜんざいに舌鼓をうっておられました。



ぜんざいを食べた後は、餅や芋を焼いたり、かつぼ酒を飲んだり、サッカーボールで遊んだり、それぞれが思い思いの時間を過ごしました。

朝9時よりどんどやの準備をしたいただいた約20名



の有志と、ぜんざい作りのお手伝いもしていただいた女性有志の皆さんありがとうございました。

### どんぐりの体験教室

12月26日に「どんぐりの植え付けとクヌギの植樹体験教室」が行われました。

当日はさわ景観文化研究所代表で環境カウンセラーでもある澤治彦氏を講師に迎え、波野地域の子ども10人でどんぐりについて学びました。

参加した子どもたちは先生が持参したどんぐりの標本に興味津々で、日本最大級の大きさになるオキナワウラジロガシのどんぐりには、びっくりしていました。

先生は、どんぐりを植えることをきっかけに「生態系」や「循環」に興味を持ってもらいたいとっておりました。

今回の体験において、植樹のときなどに子どもたちの見せた真剣な眼差しがとても印象的でした。



### 林業体験

11月28～29日と12月27～28日に熊本県青年森林協力隊事業にて、それぞれ東海大学と阿蘇清峰高校の学生が波野の林業を体験しにきました。

この事業は「水とみどりの森づくり税」を活用した事業で、やすらぎ交流館で行っているものは、地域の林業を1泊2日で体験してもらうものです。

今回、体験では丸山峠の草刈りや波野の雑木を利用した木炭づくり、ヒノキの枝打ち・間伐を行いました。講師として指導をしていただいたり、体験場所を提供いただいた城井さん・丸山さん大変お世話になりました。

今後もやすらぎ交流館では、波野地区の整備に力を入れていきたいと思っています。皆様のご協力よろしくお願い致します。

